

# 北海道帝国大学独立記念歌

(大正七年)

## 一

都みやこの花はなを吹ふく風かぜの  
津つ輕がるの海うみをこえくれば  
石いし狩かりの野の邊べ雪ゆき消きえて  
うわら若かく草さの香かも高たかく  
白しら雲くも空そらに行ゆき通かひて  
羊ひつじの夢ゆめぞ長のど閑かなる

## 二

さあへいれ平わ和めの夢ゆめの夢ゆめ  
見みよ西せい欧おうの空そらの樣よう  
怪かい雲うん荒すさび暴あらし風ほ吠え  
シはるベリいろや春はるの色いろもなく  
狂きやう風ふう千せん里り胡こ砂さを捲まき  
日に本ほん海かいに波なみ高たかし

## 三

今いまぞ皇み国いく多た事じの時とき  
北きたの守まもりの北ほく州しゅうに  
護ご国こくの子こ等らが学まなび舎やの  
弥やや栄さかえゆよろこく喜こひを  
心こころに永ながくしるさんと  
歌うたこゑ高たかき春はる今こ宵よい